

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21163
課題名	先天性心疾患患者における各臓器機能の評価指標としての MRI T1/T2 mapping の有用性
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2027 年 12 月 31 日
研究の対象	2015 年 1 月～2027 年 12 月までに当院小児科で心臓 MRI 検査を施行した先天性心疾患術後患者および他疾患患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、身長、体重、血圧、脈拍数、体温、胸部 X 線検査、心電図検査、血圧脈波検査、心臓超音波検査、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、心臓カテーテル検査、血液、尿など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	先天性心疾患患者さんでは手術成績の向上に伴い生命予後が改善した結果、術後遠隔期の合併症対応が問題になっています。心臓以外では肝臓や腎臓に対して、うっ血や虚血の影響が起きます。現状ではこの変化を客観的にみるツールは組織生検しかありませんが、これは侵襲的で、コストが高いなどの問題のため、簡単にできる検査ではありません。そこで我々は、MRI の T1/T2 mapping 検査を用いて臓器性状を定量的に評価することで代用できるのではないかと考えました。これにより、各臓器の状態を正確に把握することで、合併症の早期発見、ひいては早期治療に役立つのではないかと考えます。
研究の方法	当院小児科で診ている患者さんで心臓 MRI を施行した方を対象とします。入院時に施行した心臓 MRI 画像から、臓器の T1/T2 値を測定します。T1/T2 値と入院時に測定した身体所見の情報、血液検査項目と、胸部 X 線、心電図、血圧脈波検査、心臓超音波検査、CT 検査、核医学検査、心臓カテーテル検査などから得られた血行動態の評価項目を比較し、関連性があるかどうかを検討します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)：  北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 tell: 0166-68-2481、  旭川医科大学小児科学講座・岡 秀治</p>